

NY マーケットレポート (2015 年 9 月 3 日)

NY 市場では、序盤に発表された米貿易収支で、赤字額が縮小となったことを好感してドルが買われる動きとなったものの、同時に発表された雇用関連の経済指標が悪化したことから売られるなど、序盤はまちまちな動きとなった。その後、ドラギ ECB 総裁が、理事会後の定例会見で量的緩和の拡大を辞さない姿勢を示したことや、ユーロ圏の GDP 見通しが下方修正されたことを受けて、ユーロが主要通貨に対して下落する動きとなったことで、安全資産とされる円が買われ、円は主要通貨に対して堅調な動きとなった。一方、豪ドルは、株価や原油価格の上昇を受けて、対ユーロなどで大きく上昇し、対円でも堅調な動きとなった。しかし、終盤には株価がマイナス圏まで下落する動きとなったこともあり、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。

2015/9/3 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.38	120.70	120.31
EUR/JPY	135.23	135.37	134.96
GBP/JPY	183.74	184.72	183.58
AUD/JPY	84.53	85.14	84.17
EUR/USD	1.1235	1.1241	1.1205

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.41	120.14
EUR/JPY	135.29	134.90
GBP/JPY	184.00	183.33
AUD/JPY	84.58	84.08
EUR/USD	1.1244	1.1215

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18182.39	+86.99
ハンセン指数	休 場	
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1915.53	+0.31
豪ASX200	5027.80	-73.67
インドSENSEX指数	25764.78	+311.22
シンガポールST指数	2906.43	+28.30

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6194.10	+110.79
仏CAC40	4653.79	+98.87
独DAX	10317.84	+269.79
ST欧州600	1428.77	+33.07
西IBX35指数	10042.40	+104.10
伊FTSE MIB指数	22177.37	+565.37
南ア 全株指数	50411.09	+1182.32

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.90	120.40	119.65
EUR/JPY	133.47	135.07	133.12
GBP/JPY	182.90	183.87	182.70
AUD/JPY	84.02	84.85	83.83
NZD/JPY	76.66	77.07	76.18
EUR/USD	1.1133	1.1238	1.1087
AUD/USD	0.7008	0.7063	0.6999

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16374.76	+23.38
S&P500	1951.13	+2.27
NASDAQ	4733.50	-16.48
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	13596.41	+51.16
ブラジルボルサ指数	43283.47	+313.54
ボネバ指数	47365.87	+901.91

9/4 経済指標スケジュール

10:30	【日】7月毎月勤労統計[現金給与総額]
15:00	【独】7月製造業受注
15:45	【仏】8月消費者信頼感指数
16:15	【スイス】8月消費者物価指数
16:30	【スウェーデン】7月鉱工業生産
21:30	【カナダ】8月失業率
21:30	【カナダ】8月雇用ネット変化率
21:30	【米】8月失業率
21:30	【米】8月非農業部門雇用者数
23:00	【カナダ】8月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1124.50	-9.10
NY 原油	46.75	+0.50
CME コーン	361.50	-6.00
CBOT 大豆	869.50	-4.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.70%	0.71%
3年債	0.99%	1.02%
5年債	1.48%	1.51%
7年債	1.89%	1.91%
10年債	2.16%	2.19%
30年債	2.94%	2.96%

9/4 主要会議・講演・その他予定

・G20財務相・中央銀行総裁会議

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

20 : 45

≪ 経済指標の結果 ≫

欧州中銀 政策金利発表 0.05% (予想 0.05%・前回 0.05%)

中銀預金金利 -0.20% (予想 -0.20%・前回 -0.20%)

限界貸出金利 0.30% (予想 0.30%・前回 0.30%)



(出所：ブルームバーグ)

21:00

ドル/円 120.24 ユーロ/円 135.07 ユーロ/ドル 1.1233

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6165.83	+82.52	ダウ 先物ミニ	16397	+67
仏 CAC40	4604.88	+49.96	S&P 500 ミニ	1955.25	+8.25
独 DAX	10205.76	+157.71	NASDAQ 100 ミニ	4276.50	+16.50

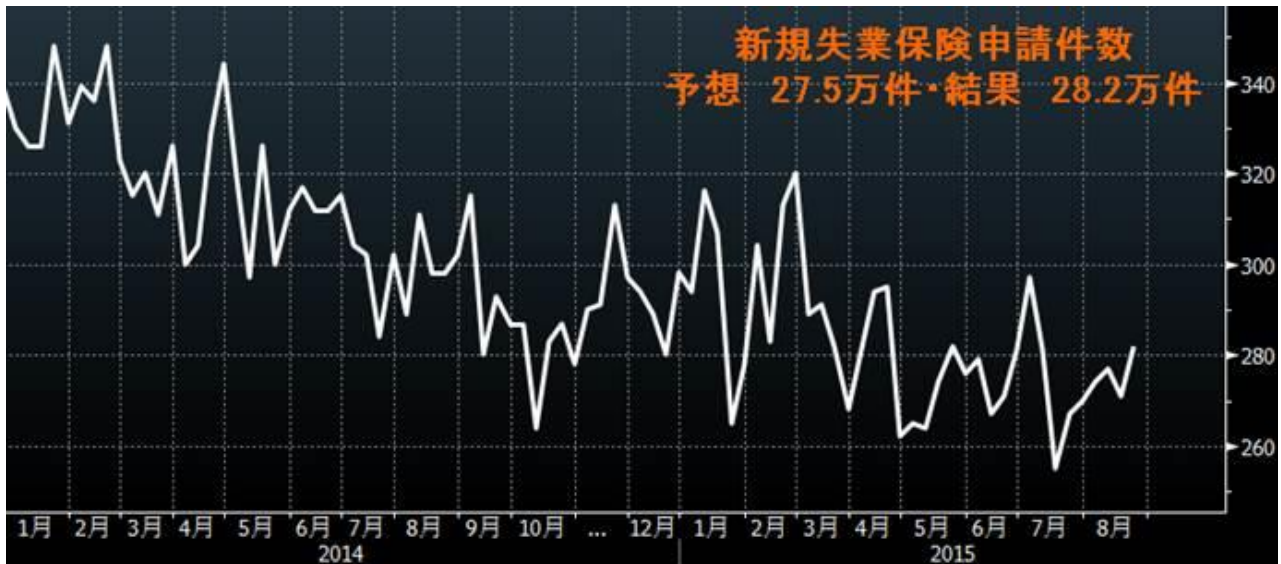
(出所：SBILM)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 28.2 万件（予想 27.5 万件・前回 27.0 万件）
 前回発表の 27.1 万件から 27.0 万件に修正

失業保険継続受給者数 225.7 万人（予想 225.5 万人・前回 226.6 万人）
 前回発表の 226.9 万人から 226.6 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

	申請件数	・	前週比	・	4 週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
15/08/29	282,000	・	+12,000	・	275,500	・	2,257,000	・	1.7%
15/08/22	270,000	・	-7,000	・	272,250	・	2,266,000	・	1.7%
15/08/15	277,000	・	+4,000	・	271,500	・	2,278,000	・	1.7%
15/08/08	273,000	・	+4,000	・	268,000	・	2,258,000	・	1.7%
15/08/01	269,000	・	+2,000	・	274,750	・	2,258,000	・	1.7%
15/07/25	267,000	・	+12,000	・	275,500	・	2,257,000	・	1.7%

- ・「理事会は今後、関連する情報を注視する」
- ・「インフレ見通しが大幅に悪化あるいは望ましくない金融引き締めがあれば、全ての利用可能な手段を活用」
- ・「QEの月間買入額 600 億ユーロを完全に実施」
- ・「2016 年 9 月までの予定だが必要ならそれ以降も実施する可能性」
- ・「景気回復は緩やかながらも続く見通し」
- ・「新興国経済が世界経済成長の重し、新興国市場低迷が景気鈍化に反映」
- ・「金融政策が域内需要を下支え、原油価格の下落は支援要因」
- ・「ユーロ圏成長はバランスシート調整で圧迫される可能性」
- ・「経済見通しの下方修正、対外需要の減少が主因」
- ・「経済見通しへのリスクは下向き、リスクは対外環境に関連している」
- ・「現在の新興市場の動向、成長にさらに悪影響及ぼす可能性」
- ・「非常に低水準のインフレが続く見通し」
- ・「インフレ率は年末に向け上昇へ、原油価格によるベース効果が一因」
- ・「インフレ率の上昇、当初予想より緩やかなペースで実現する見通し」
- ・「今後数カ月でデフレが起こる可能性」
- ・「行動する用意があることを強調したい」
- ・「金融政策強化の可能性には限界がない」
- ・「経済予測は 8 月 12 日までの情報を基に作成、それ以降の事態には下振れリスク」

21 : 45

ECB スタッフ予想

- ・「2015 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.4% (6 月予想 1.5%)」
- ・「2016 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.7% (6 月予想 1.9%)」
- ・「2017 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.8% (6 月予想 2.0%)」
- ・「2015 年のユーロ圏インフレ率見通しは 0.1% (6 月予想 0.3%)」
- ・「2016 年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.1% (6 月予想 1.5%)」
- ・「2017 年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.7% (6 月予想 1.8%)」



(出所：ネットダニア)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6 月メキシコ総設備投資 8.7% (予想 6.5%・前回 2.4%)
 前回発表の 2.3%から 2.4%に修正



(出所：ブルームバーグ)

22 : 36

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16432.05	+80.67
ナスダック	4768.79	+18.81

(出所：SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月マークイット米国サービス業 PMI 56.1 (予想 55.0・前回 55.2)



(出所：ブルームバーグ)

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米ISM非製造業景況指数 59.0 (予想 58.2・前回 60.3)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
総合指数	59.0	60.3	56.0	55.7	57.8	56.5
景況指数	63.9	64.9	61.5	59.5	61.6	57.5
仕入価格	50.8	53.7	53.0	55.9	50.1	52.4
新規受注	63.4	63.8	58.3	57.9	59.2	57.8
雇用者数	56.0	59.6	52.7	55.3	56.7	56.6

【ISM 非製造業景況指数】

ISM 非製造業景況指数は、全米供給管理協会（Institute for Supply Management＝ISM）が発表する米国の非製造業（サービス業）の景況感を示す指数。管理責任者に対するアンケートを集計した指数であり、50 が景気の拡大・後退の判断基準であり、50 を上回れば景気拡大、下回れば景気後退と判断する。

23 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、米雇用関連の経済指標が堅調だったことで、米景気の先行きを期待した買いが先行し、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、一時前日比で 159 ドル高まで上昇する動きとなった。

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+1.2 万件の 28.2 万件と 2 週ぶりに増加した。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+3250 人の 27 万 5500 人。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比 0.9 万人の 225.7 万人。受給者数の 4 週移動平均は、前週比-250 人の 226 万 4250 人。受給者比率は、前週比横ばいの+1.7%だった。

(2) 米 7 月の貿易収支は、赤字額がモノとサービスの取引を合わせた国際収支ベースで前月比-7.4%の 418 億 6300 万ドルとなり、3 ヶ月ぶりに縮小した。メキシコや日本向けなどの輸出が伸びる一方、輸入は抑制され、貿易赤字額全体が圧縮された。経済成長の失速懸念が強まる中国向け輸出は減少した。

①輸出総額は、+0.4%の 1884 億 9900 万ドルと 3 ヶ月ぶりに増加、自動車関連や産業機械、コンピューターが伸びた。

②輸入総額は、-1.1%の 2303 億 6200 万ドルと 2 ヶ月ぶりに前月を下回った。携帯電話や魚介類が減り、自動車関連は増加した。

③モノの貿易赤字は、+5.5%の 684 億 8400 万ドル。対中赤字は+0.4%315 億 7700 万ドルで、対日赤字は 8.3%の 56.6 億ドル、EU に対する赤字も 5.0%となった。

(3) 7 月の ISM 非製造業総合指数は、市場予想を上回る 59.0 となり、2005 年 8 月以来の高水準だった 7 月の 60.3 からは低下したものの、依然力強いことを示した。景気指数が 63.9（7 月 64.9）、新規受注は 63.4（7 月 63.8）、雇用指数は 56.0（59.6）、価格指数は 50.8（53.7）とそれぞれ低下。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6194.10	+110.79
仏 CAC40	4653.79	+98.87
独 DAX	10317.84	+269.79
ストック欧州 600 指数	362.24	+8.38
ユーロファースト 300 指数	1428.77	+33.07
スペイン IBEX35 指数	10042.40	+104.10
イタリア FTSE MIB 指数	22177.37	+565.37
南ア アフリカ全株指数	50411.09	+1182.32

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ドラギ ECB 総裁が量的金融緩和の拡大も辞さない姿勢を示したことが好感され、主要株価は大幅続伸となった。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16479.82 (+128.44) 、S&P500 1964.16 (+15.30) ナスダック 4774.03 (+24.05)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ドラギ ECB 総裁が理事会後の記者会見で量的緩和の拡大も辞さない姿勢を示したことで、ドイツ国債の利回りが低下し、相対的に利回りが高い米国債を買う動きが先行した。ただ、4日の米雇用統計発表を控えて警戒感も広がり、上げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30年債が2.96%（前日2.95%）、10年債が2.18%（2.19%）、7年債が1.90%（1.91%）、5年債が1.50%（1.51%）、3年債が1.00%（1.01%）、2年債が0.70%（0.71%）。

3 : 20

NY 金は、中心限月が前日比 9.10 ドル安の 1 オンス=1124.50 ドルで取引を終了した。

4 : 05

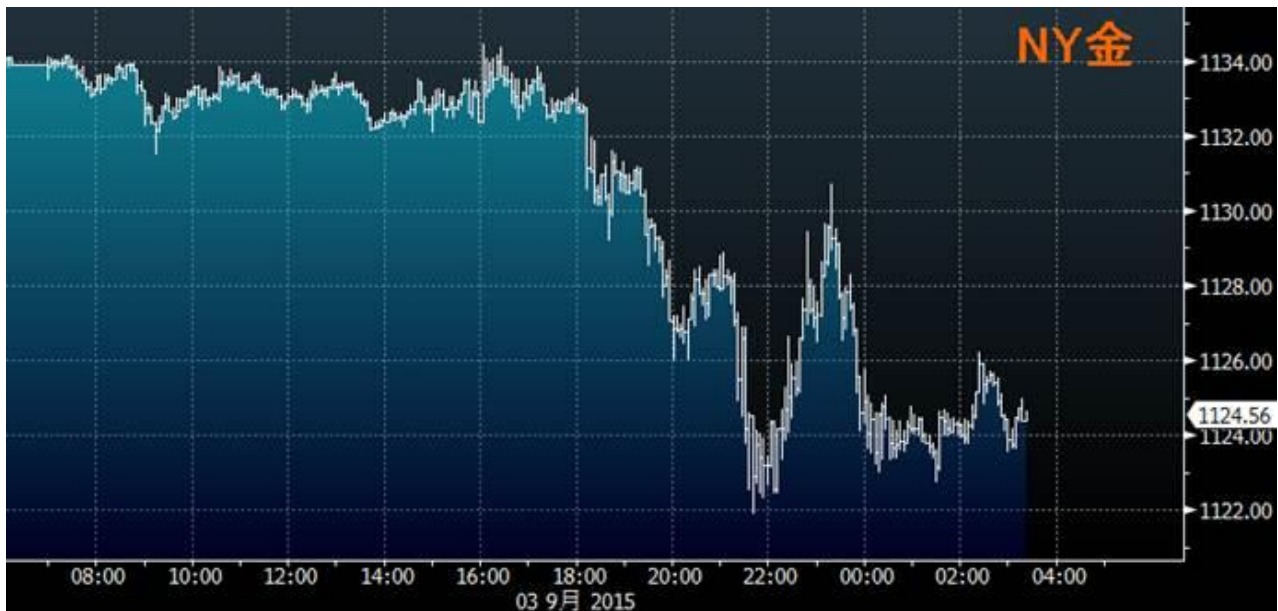
NY 原油は、中心限月が前日比 0.50 ドル高の 1 バレル=46.75 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1124.50	-9.10
NY 原油	46.75	+0.50

(出所：SBILM)

《 NY 金市場 》

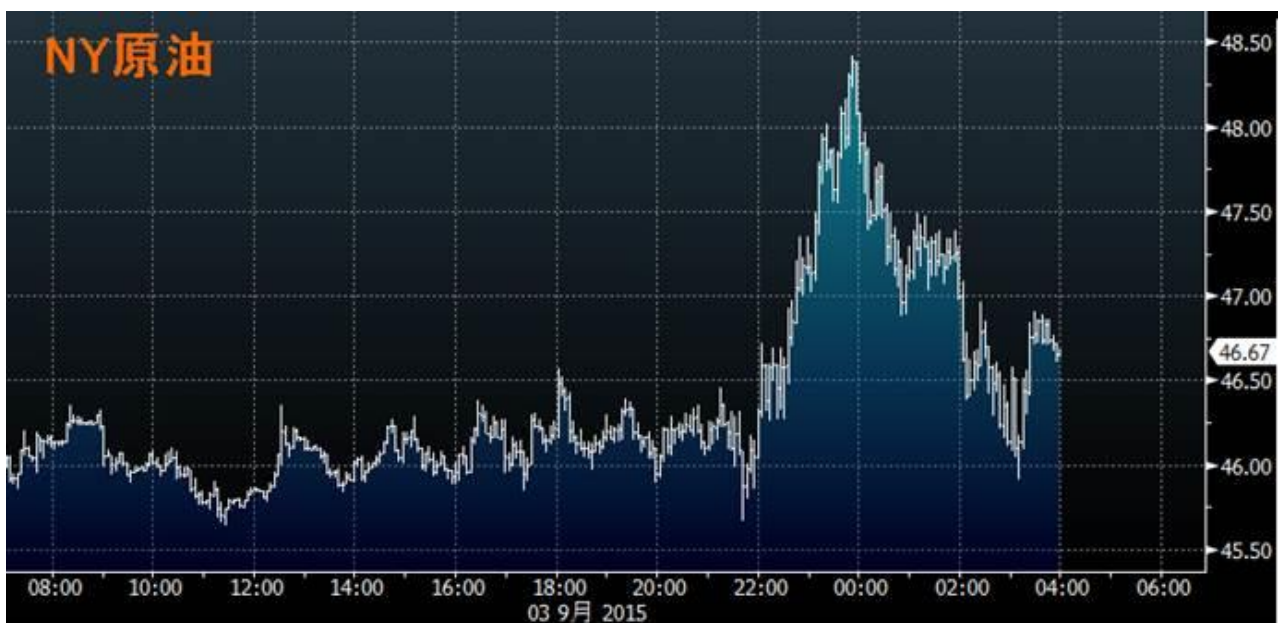
NY 金は、ドラギ ECB 総裁が必要であれば量的緩和を拡大も辞さないとの姿勢を示したことで、ユーロ安・ドル高が進行し、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。また、4 日の米雇用統計の発表を控えて、積極的な買いは手控えられた。



(出所：ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、ECB 追加緩和に踏み切るとの観測から投資家のリスク志向が強まり、買いが先行した。ただ、その後は米国株の上げ幅縮小につれて売りも出て、やや上値は抑えられた。



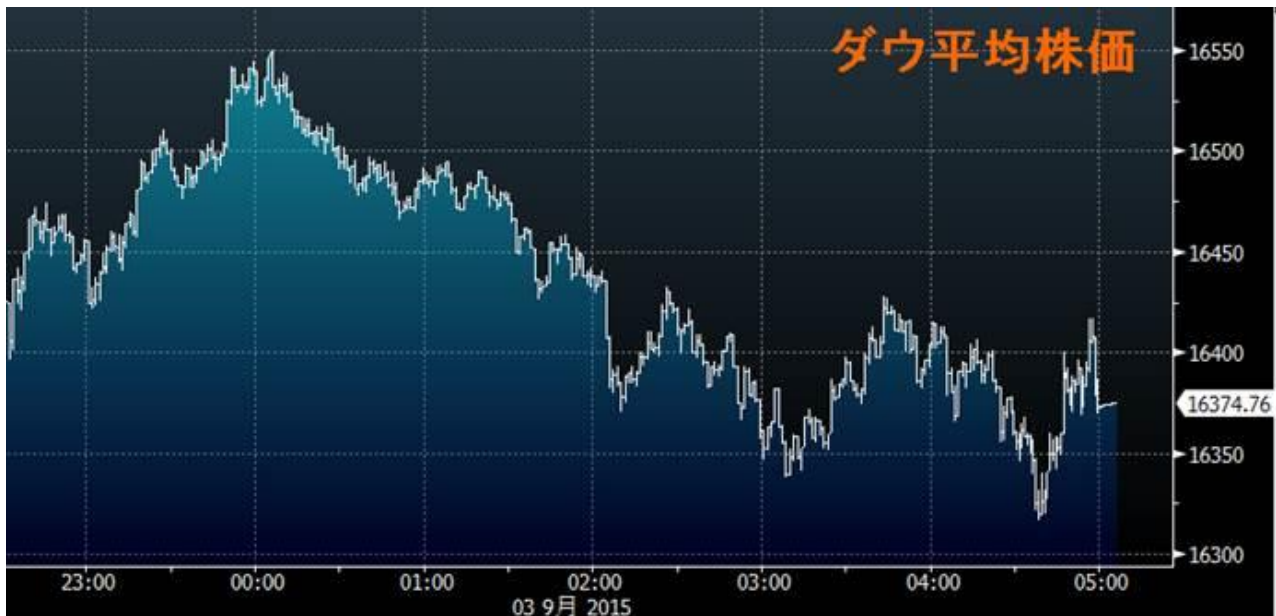
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16374.76	+23.38	16550.07	16317
S&P500 種	1951.13	+2.27	1975.01	1944.72
ナスダック	4733.50	-16.48	4800.19	4721.91

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米貿易赤字が縮小したことを受けて、米景気の先行きを期待した買いが先行し、主要株価は堅調な動きとなった。しかし、その後は米雇用統計を控えて一旦ポジションを手仕舞う動きも見られ、主要株価は上げ幅を大きく縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、一時前日比で 198 ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後は上げ幅を縮小し、終盤には一時マイナス圏まで下落する動きとなった。



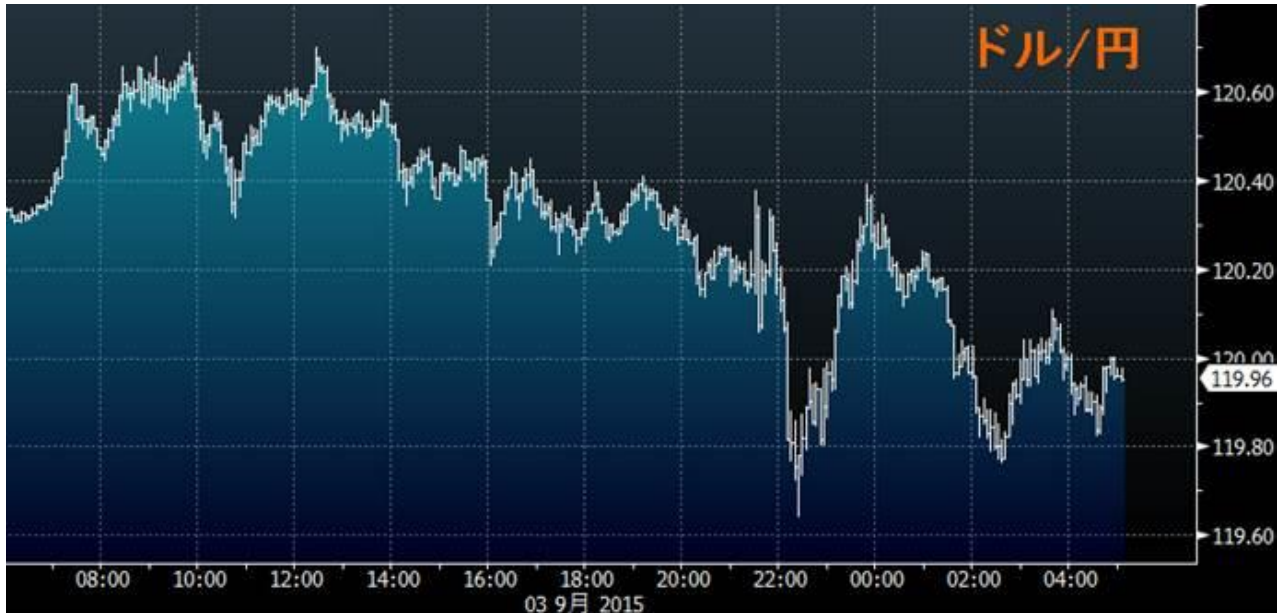
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.90	120.40	119.65
EUR/JPY	133.47	135.07	133.12
GBP/JPY	182.90	183.87	182.70
AUD/JPY	84.02	84.85	83.83
NZD/JPY	76.66	77.07	76.18
EUR/USD	1.1133	1.1238	1.1087
AUD/USD	0.7008	0.7063	0.6999

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標がまちまちの結果となり、ドルはもみ合いの動きとなったものの、ECB 総裁が緩和策拡大の可能性を示唆したことから、ユーロ売り・円買いが優勢となり、円が主要通貨に対して上昇する半面、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、豪ドルは対ユーロなどで大きく上昇する動きも見られた。しかし、終盤には株価がマイナス圏まで下落する動きとなったこともあり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。